

# 最近の管内経済概況

(2025年12月の経済指標を中心として)

～ 一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している ～

最近の動きをみると、

- 生産活動は、弱含み。
- 個人消費は、一部に足踏みがみられるものの、緩やかに改善している。
- 観光は、改善が続いている。
- 公共工事は、減少した。
- 住宅建設は、弱まっている。
- 民間設備投資は、増加している。
- 雇用動向は、弱含んでいる。
- 企業倒産は、件数、負債総額とも増加した。

全体として、管内経済は、一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している。  
なお、先行きについては、国際経済の動向等を十分注視する必要がある。

2026年2月20日

照会先 : 経済産業省 北海道経済産業局  
総務企画部 企画調査課

T E L : 011-709-2311 内線 2525

E-mail : bz1-hokkaido-kikakuchosa@meti.go.jp

# 管内経済概況判断の推移

(2026年2月現在)

発表月	2025年9月	10月	11月	12月	2026年1月	2月	前月との判断比較
総括判断	緩やかに持ち直している	一部に弱い動きがみられるものの、 <u>緩やかに持ち直している</u> (↘)	一部に弱い動きがみられるものの、 <u>緩やかに持ち直している</u>	一部に弱い動きがみられるものの、 <u>緩やかに持ち直している</u>	一部に弱い動きがみられるものの、 <u>緩やかに持ち直している</u>	一部に弱い動きがみられるものの、 <u>緩やかに持ち直している</u>	
生産活動	持ち直しの兆しがみられる	弱含み (↘)	弱含み	弱含み	弱含み	弱含み	
個人消費	一部に足踏みがみられるものの、 <u>緩やかに改善している</u>	一部に足踏みがみられるものの、 <u>緩やかに改善している</u>	一部に足踏みがみられるものの、 <u>緩やかに改善している</u>	一部に足踏みがみられるものの、 <u>緩やかに改善している</u>	一部に足踏みがみられるものの、 <u>緩やかに改善している</u>	一部に足踏みがみられるものの、 <u>緩やかに改善している</u>	
観光	改善が続いている	改善が続いている	改善が続いている	改善が続いている	改善が続いている	改善が続いている	
公共工事	<u>増加した</u> (↗)	<u>減少した</u> (↘)	<u>増加した</u> (↗)	<u>減少した</u> (↘)	減少した	減少した	
住宅建設	弱まっている	弱まっている	弱まっている	弱まっている	弱まっている	弱まっている	
民間設備投資	増加している	増加している	増加している	増加している	増加している	増加している	
雇用動向	弱含んでいる	弱含んでいる	弱含んでいる	弱含んでいる	弱含んでいる	弱含んでいる	
企業倒産	件数、負債総額とも減少した	件数、負債総額とも増加した	件数は増加、負債総額は減少した	件数、負債総額とも減少した	件数は増加、負債総額は減少した	件数、負債総額とも増加した	

※下線部は、前月から判断を変更した部分。

 上方修正  据え置き  下方修正

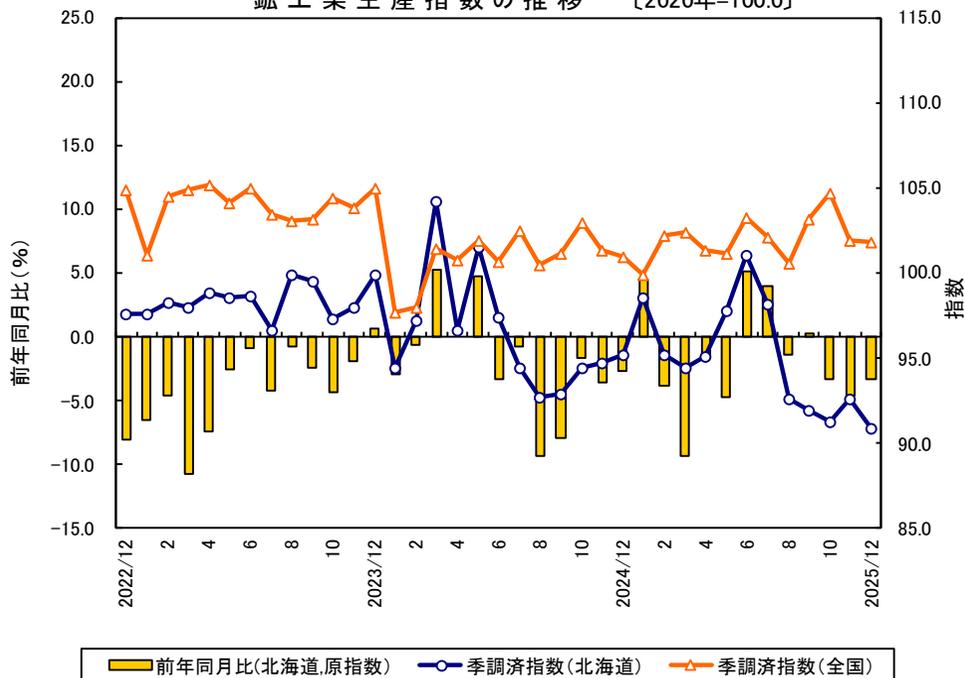
# 生産活動 ～ 弱含み～

12月の鉱工業生産は、前月比▲1.8%と2か月ぶりに低下した。前年同月比は▲3.3%と3か月連続で低下した。低下業種は、一般機械工業など7業種となった。上昇業種は、金属製品工業など5業種となった。

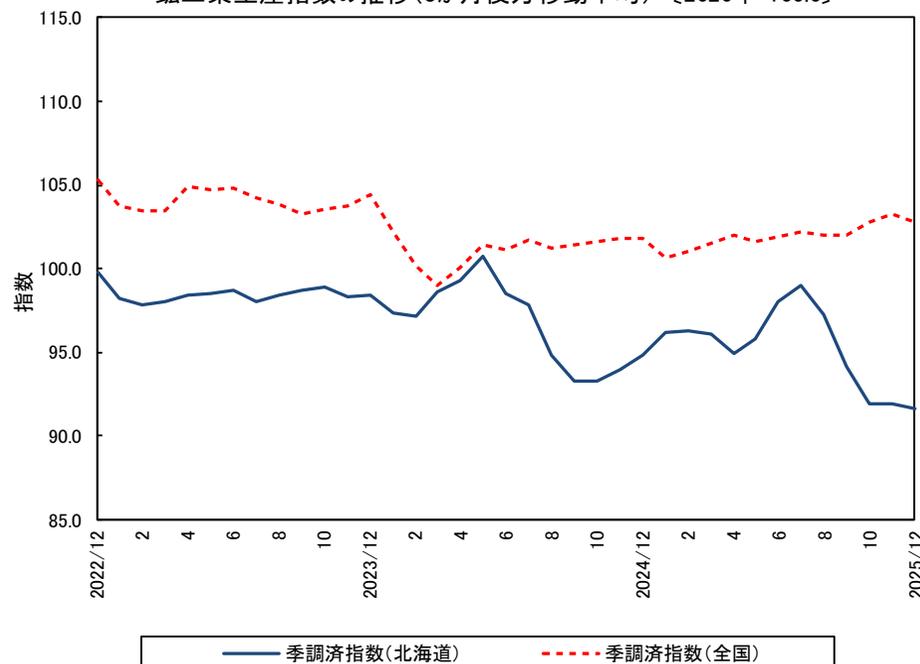
<12月> 季節調整済指数 北海道（速報） 90.9（前月比▲ 1.8%） 全国（速報） 101.8（前月比▲ 0.1%）	
--	--

	業 種	前月比 (%)	前年同月比 (%)	主な品目
低下 7業種	一般機械工業	▲ 40.4	▲ 15.2	一般機械
	鉄鋼・非鉄金属工業	▲ 24.4	▲ 45.5	鋼半製品
	化学・石油石炭製品工業	▲ 7.7	+ 31.6	化学・石油石炭製品
上昇 5業種	金属製品工業	+ 27.5	▲ 3.7	鉄骨

鉱工業生産指数の推移 [2020年=100.0]



鉱工業生産指数の推移(3か月後方移動平均) [2020年=100.0]



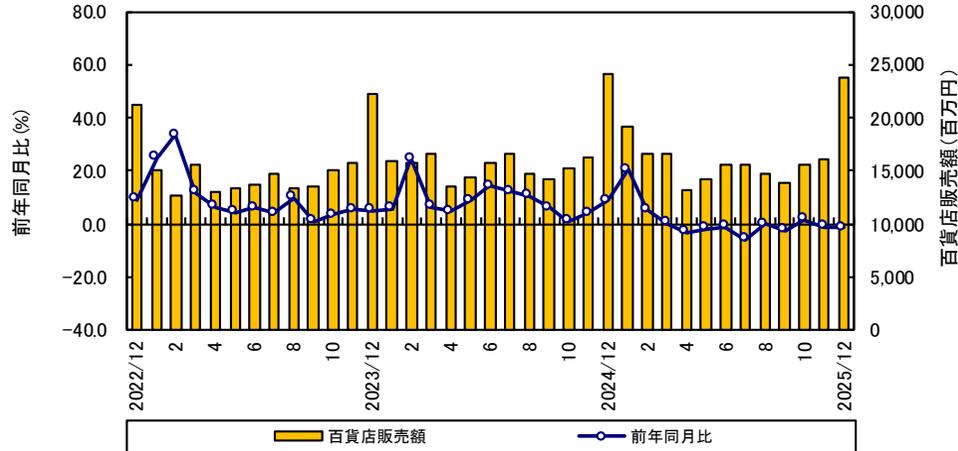
(資料：経済産業省、北海道経済産業局)

# 個人消費 ～ 一部に足踏みがみられるものの、緩やかに改善している ～

12月の個人消費は、百貨店が前年を下回り、他の6業態は前年を上回った。

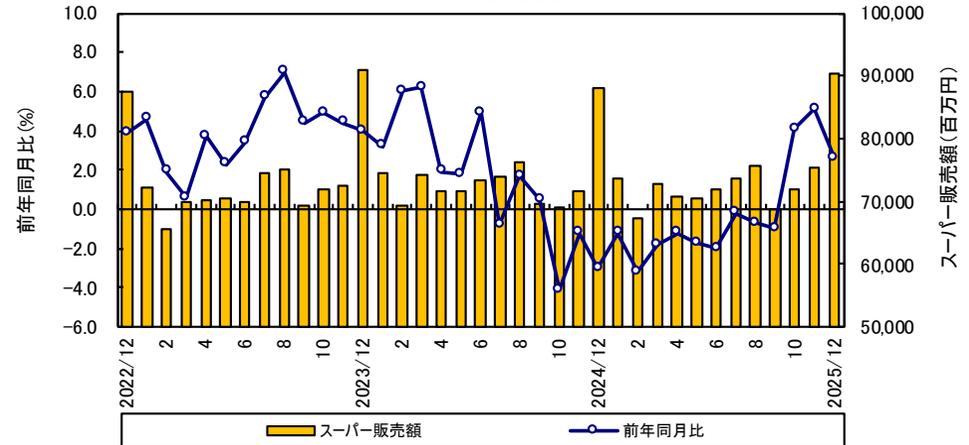
- 百貨店は、客数が前年を下回り、前年同月比▲1.4%と2か月連続で前年を下回った。
- スーパーは、クリスマスや年末の売上げが堅調で、同+2.6%と3か月連続で前年を上回った。
- コンビニエンスストアは、同+2.7%と15か月連続で前年を上回った。

百貨店販売額推移



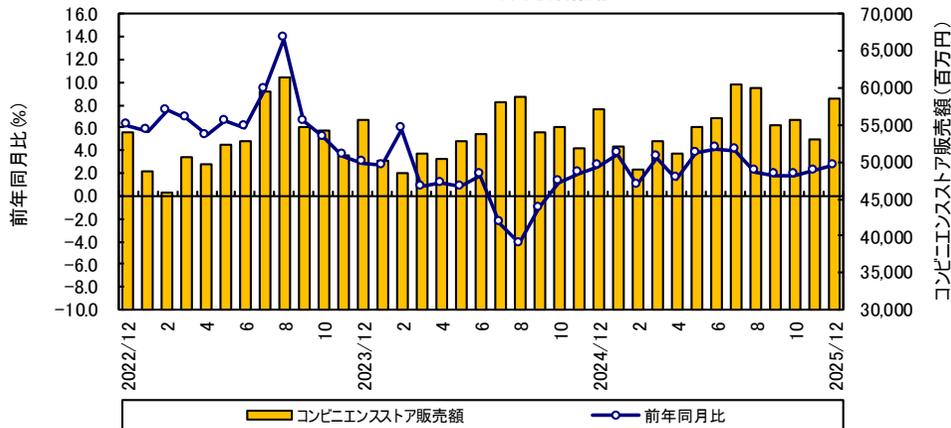
(資料：経済産業省、北海道経済産業局)

スーパー販売額推移



(資料：経済産業省、北海道経済産業局)

コンビニエンスストア販売額推移



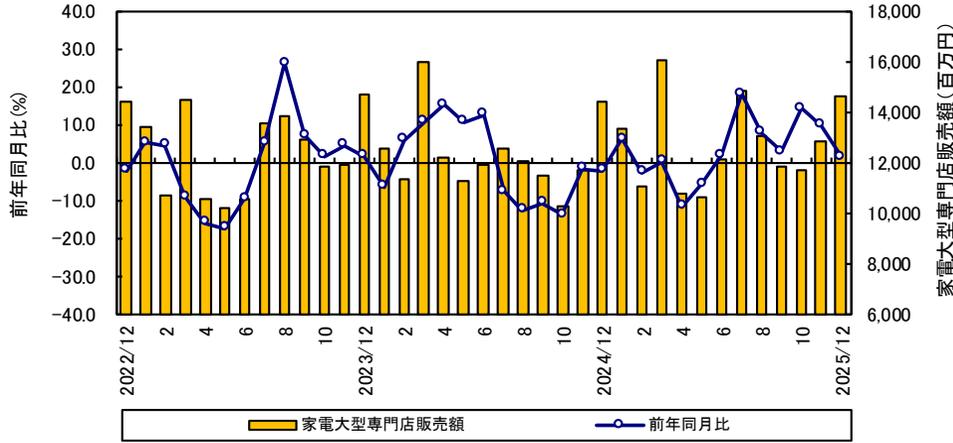
(資料：経済産業省)

## 【ヒアリング内容】

- クリスマスや年末の客数は前年を上回ったものの、青森県東方沖の地震とその後の北海道・三陸沖後発地震注意情報の影響や、中旬の大雪により当月全体の客数が前年を下回ったことから売上げが前年を下回った。(百貨店)
- クリスマスや年末の売上げが堅調だったほか、中旬の大雪の前にまとめ買いをする人がいたことから全体の売上げは前年を上回った。(スーパー)
- 値上げにより客単価が上昇したほか、中旬の大雪の後には自宅近くの店舗を利用する人が多く道東地域で売上げが増加する傾向がみられ、全体の売上げが前年を上回った。(コンビニエンスストア)

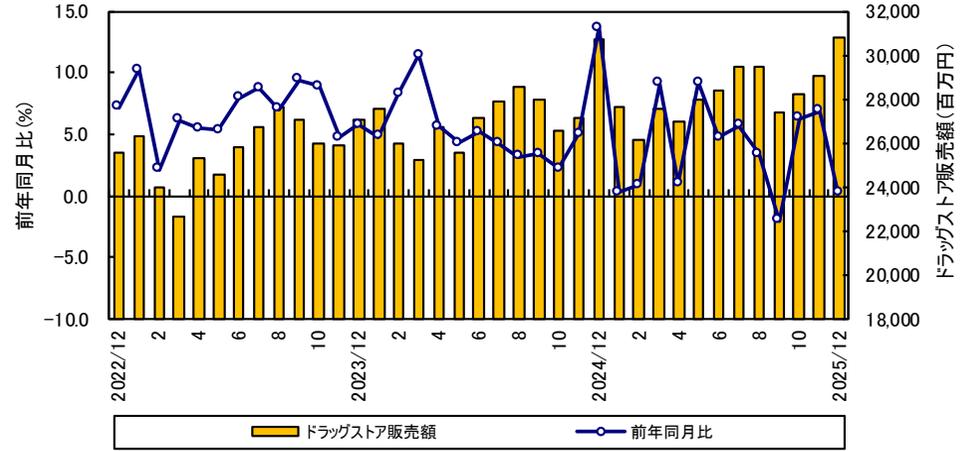
- ・家電大型専門店は、同+1.4%と7か月連続で前年を上回った。ドラッグストアは、同+0.2%と3か月連続で前年を上回った。ホームセンターは、同+2.3%と2か月ぶりに前年を上回った。
- ・新車販売は、同+5.8%と2か月ぶりに前年を上回った。

家電大型専門店販売額推移



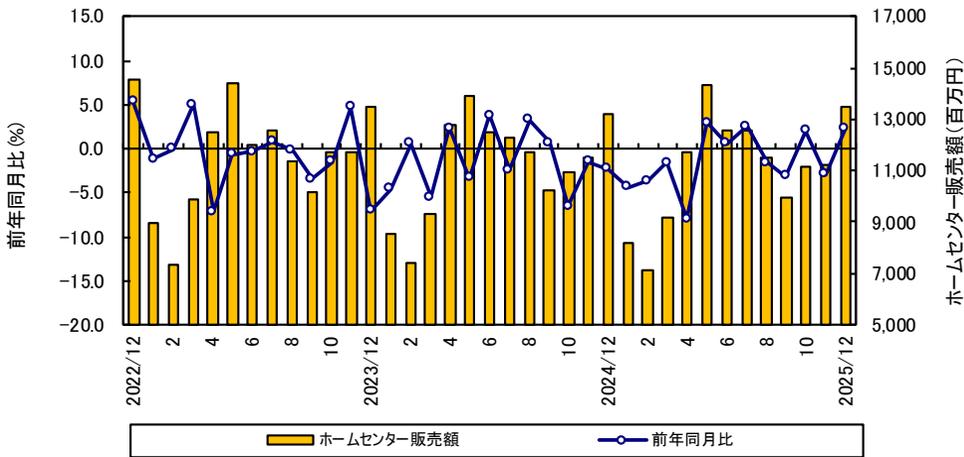
(資料：経済産業省)

ドラッグストア販売額推移



(資料：経済産業省)

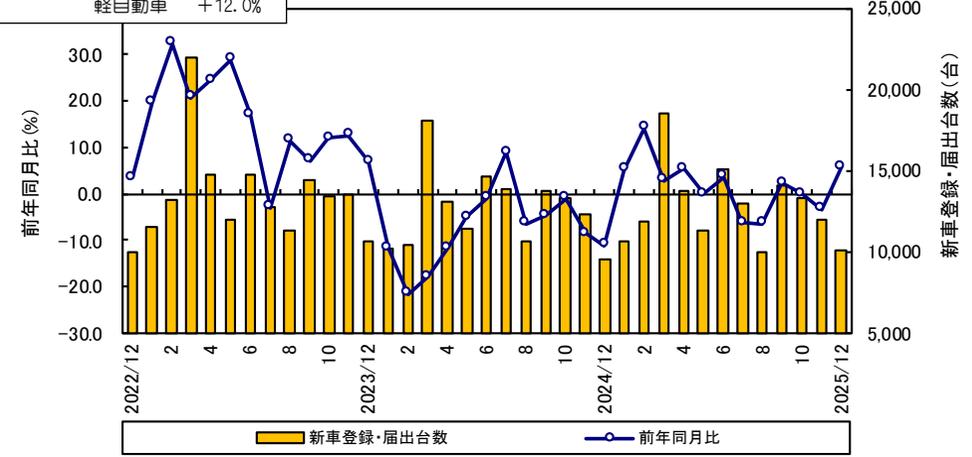
ホームセンター販売額推移



(資料：経済産業省)

<12月> 普通乗用車 ▲12.5%  
小型乗用車 +38.6%  
軽自動車 +12.0%

新車登録・届出台数推移



(資料：(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車協会連合会)

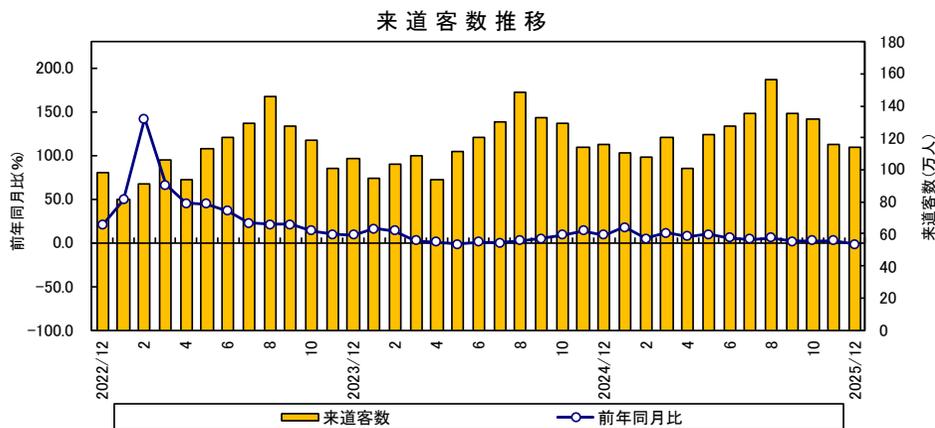
【ヒアリング内容】

- ・既存OSのサポート終了に伴う買い替え需要や半導体メモリーの不足による価格高騰の懸念から駆け込み需要があり、パソコンの売上げが前年を上回った。(家電大型専門店)
- ・化粧品の売上げが堅調だった。一方で、インフルエンザの流行時期が前年よりも早かったことから風邪薬の売上げは前年を下回った。(ドラッグストア)
- ・青森県東方沖の地震とその後の北海道・三陸沖後発地震注意情報の影響により防災関連商品の売上げが前年を上回った。(ホームセンター)

# 観光 ～改善が続いている～

12月の来道客数は、前年同月比▲1.5%と19か月ぶりに前年を下回った。また、道内外国人入国者数は、同+13.9%と42か月連続で前年を上回った。

<12月> 入国者数 278,675人(+13.9%)



(資料：法務省) ※2023/4及び7～11の前年同月比は著しく増加したため、便宜上表示していません。

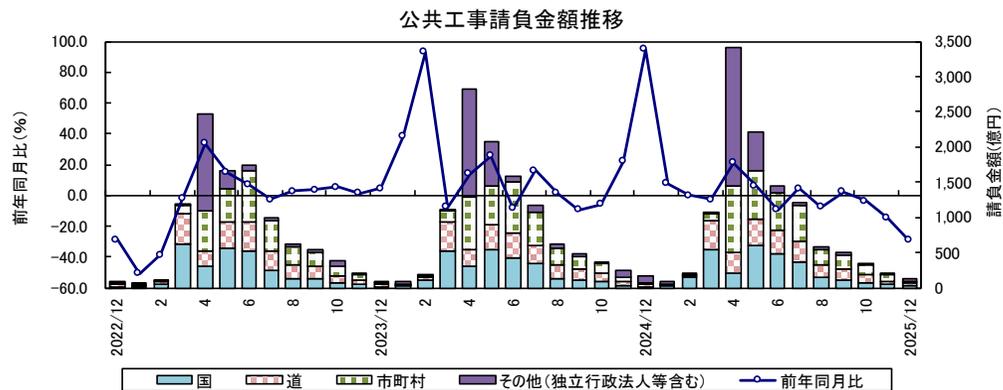
<12月> 来道客数 1,138,696人(▲1.5%)  
 ※北海道外から航空機(国内線)、JR(北海道新幹線)、フェリーを利用して来道した旅客数。  
 ※道内で入国手続きを行った外国人数は含まない。

(資料：(公社)北海道観光機構)

・12月の全体の宿泊数は前年と同程度だった。全体の宿泊客に対する訪日宿泊客の比率は50%近くと高くなっている。(観光協会)

# 公共工事 ～減少した～

12月の公共工事請負金額は、国、道、市町村は前年を上回ったが、その他は前年を下回り、前年同月比▲29.0%と3か月連続で前年を下回った。



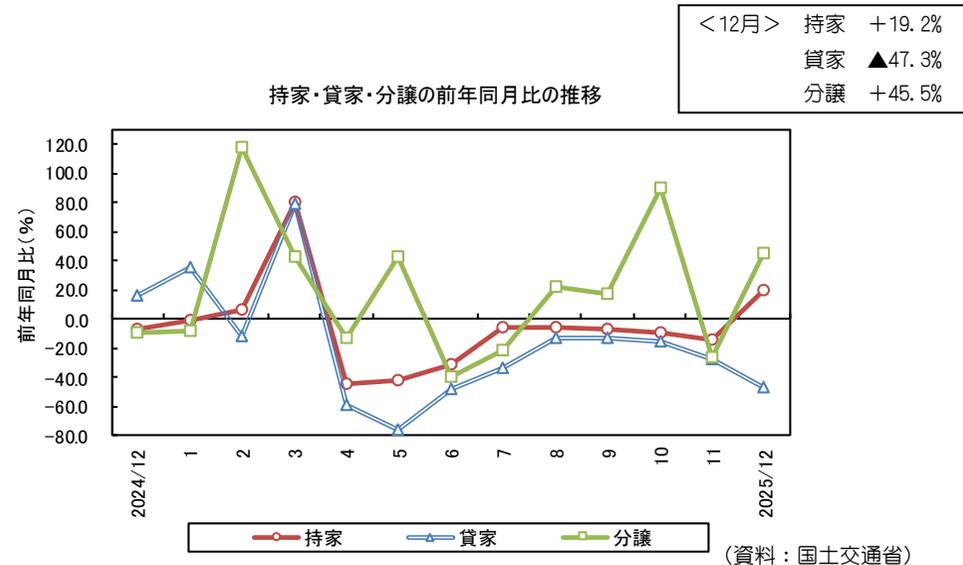
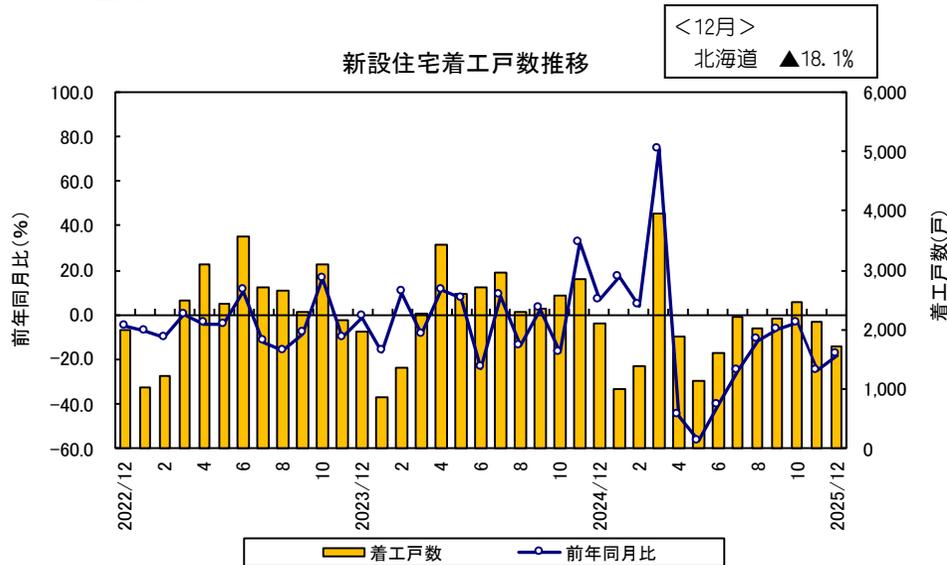
<12月>  
 北海道 ▲29.0%  
 (内訳)  
 国 +53.8% 道 +10.6% 市町村 +33.2% その他 ▲69.3%

※請負金額は国、道、市町村、独立行政法人等の合計額

(資料：北海道建設業信用保証(株)ほか2社)

# 住宅建設 ~ 弱まっている ~

12月の新設住宅着工戸数は、持家、分譲は前年を上回ったが、貸家は前年を下回り、前年同月比▲18.1%と9か月連続で前年を下回った。



# 民間設備投資 ~ 増加している ~

2025年度の設備投資計画は、全体で前年度比+11.6%と4年連続で前年度を上回った。

日銀短観の設備投資動向

2025年12月15日発表

	2024年度	2025年度
北海道	+ 6.5%	+ 11.6%
製造業	+ 10.0%	+ 22.6%
非製造業	+ 4.9%	+ 6.3%
全国	+ 7.5%	+ 8.9%

※土地投資額を含み、ソフトウェア投資額、研究開発投資額を除く。

※北海道は、電気・ガスを除くベース。

(資料：日本銀行札幌支店)

法人企業景気予測調査(北海道・設備投資)

2025年12月11日発表

	2024年度	2025年度
全産業	+ 16.5%	+ 18.2%
製造業	+ 19.6%	+ 18.9%
非製造業	+ 15.2%	+ 17.9%

※数値は対前年比増減率。

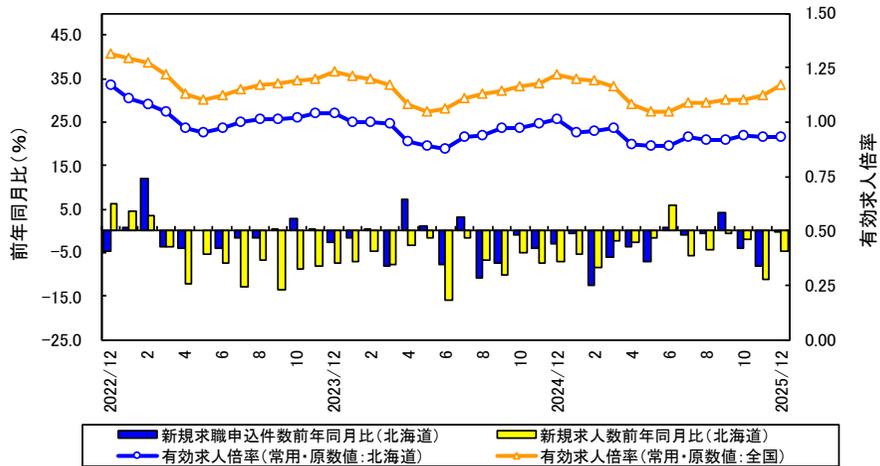
※ソフトウェア投資額を含み、土地購入額を除く。

(資料：北海道財務局)

# 雇用動向 ~ 弱含んでいる ~

12月の有効求人倍率は、0.93倍と前年同月差0.08ポイント低下し、5か月連続で前年を下回った。

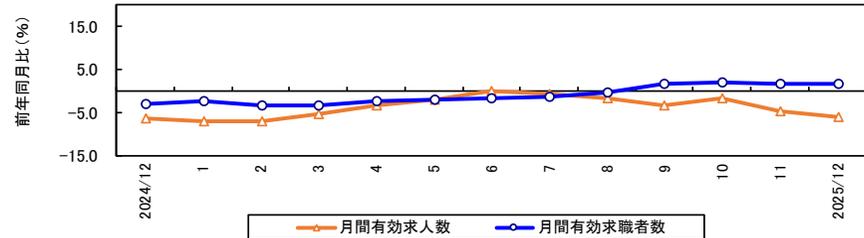
有効求人倍率・新規求職・新規求人件数の推移



<12月>	
北海道	有効求人倍率(常用・原数値) 0.93倍 新規求人件数(前年同月比) ▲4.7% 新規求職申込件数(前年同月比) ▲0.1%
全国	有効求人倍率(常用・原数値) 1.17倍

<12月>	
月間有効求職人数(前年同月比)	▲5.9%
月間有効求職者数(前年同月比)	+1.8%

月間有効求職人数・月間有効求職者数の推移

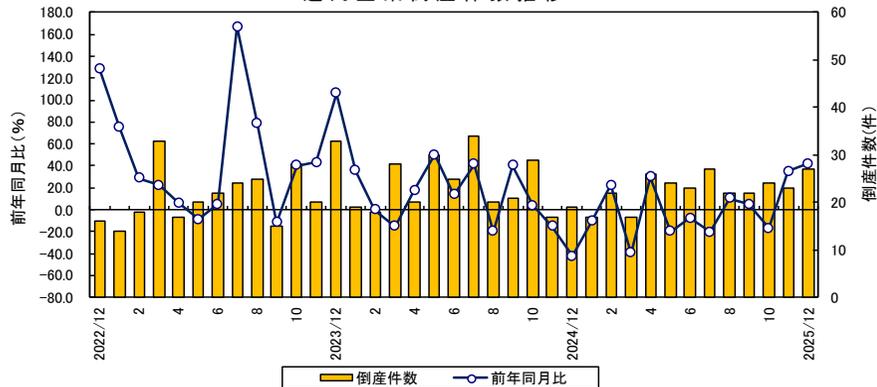


(資料：厚生労働省、北海道労働局)

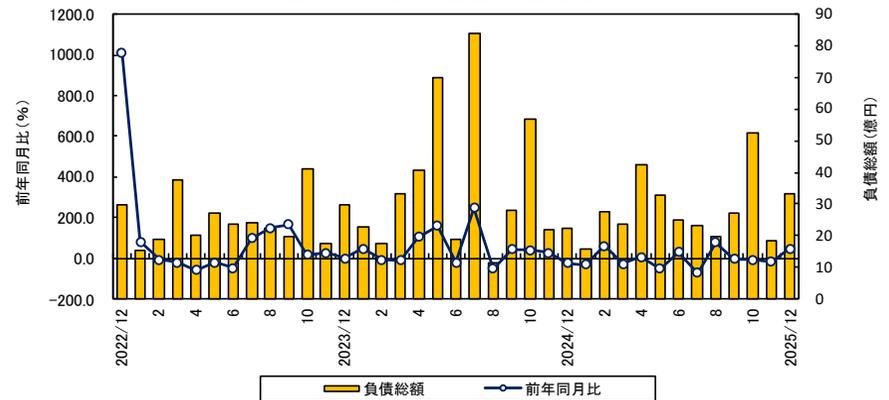
# 企業倒産 ~ 件数、負債総額とも増加した ~

12月の倒産件数は27件で、前年同月比+42.1% (8件増) と2か月連続で前年を上回った。また、負債総額は33.3億円で、同+48.1%と4か月ぶりに前年を上回った。

道内企業倒産件数推移



道内企業倒産負債総額推移



(資料：(株)東京商工リサーチ)